



NPO法人

ボランティアインフォ

第4期（2015年4月～2016年3月） Annual report

CONTENTS

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 ボランティアインフォについて | 6 その他の活動/助成金 |
| 2 被災地の状況とボランティア | 7 この1年の定量的な成果 |
| 3 ボランティア情報事業 | 8 この1年の定性的な成果 |
| 4 ボランティアコーディネーター事業 | 9 メディア掲載 |
| 5 ボランティア促進・啓発事業 | 10 最後に |

日頃よりボランティアインフォの活動にご協力頂き、ありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

2011年の震災後の仙台駅でのボランティア案内所から始まったボランティアインフォも活動開始から5年が経過し、今まで掲載したボランティア情報も延べ9000件を越えました。

引き続き東北沿岸部で復興のために活動をしている方々のもとに、求められているボランティアの質と量を満たすことで、震災からの復興に尽力していきたいと思っております。

そして震災でのボランティアをブームに終わらせないためにも、もっとカジュアルなボランティアを社会に提案し、日本におけるボランティア人口を増やしていきたいと考えております。

今年度もボランティアインフォ一同、さらにパワーアップしてまい進していきたいと思っておりますので、引き続き温かいサポートをいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ボランティアインフォ 代表理事 北村 孝之

● ミッション

ボランティアを求める人とボランティアをつなげる

ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を
ひとりでも多くつなげたい、ボランティアしたい人と、ボランティアをしてほしい人を

● 事業内容

information

ボランティアを求めている人と、
ボランティアを情報でつなぎます。

ボランティア情報事業

東日本大震災のボランティア情報の収集と配信に加え、震災関連以外のボランティア情報の収集及び配信を実施します。収集したボランティア情報はデータベースとしてAPIで配信しています。配信した情報はYahoo!ボランティアなどのサイトに同時に表示されます。

coordination

企画段階からボランティア募集、
現場でのコーディネーションまで実施します。

ボランティアコーディネート事業

イベントなどでボランティア募集をする際、企画から募集、当日のコーディネートまで実施します。集まったボランティアのコミュニティ構築のお手伝いも実施します。

diffuse

ボランティアがもっとカジュアルになるように、
ボランティアするもっと人が増えるように。

ボランティア促進・啓発事業

日本のボランティア人口を増やすやめに、またボランティア活動をもっとカジュアルにするための普及活動や啓発活動を行います。

● 運営体制

代表理事： 北村孝之
理事： 大藤多香子
理事： 山田朱実
監事： 村松淳司（東北大学教授）

副代表： 馬場隆介
事務局長： 田屋由佳利

● 事業概要

ボランティア募集情報の収集と発信を通じて、ボランティアを求めている人とボランティアをつなぐ事業です。



・ 東日本大震災のボランティア募集情報の収集

ボランティア募集情報の収集はwebを中心に随時行っています。

また募集団体からの応募フォームを通じた投稿も随時募集しつつ、1度掲載した情報は定期的に更新されていないか確認を行うことで情報の鮮度を保っています。

・ 東日本大震災のボランティア募集情報の発信

収集したボランティア情報をデータベースに集約し、APIにて配信することによってさまざまなサイトでボランティア情報が表示されます。

ボランティア情報が表示されるサイト： ボランティアインフォ
Yahoo! ボランティア など

● 東日本地震以外のボランティア情報

ボランティアインフォでは、東日本地震後に構築したボランティア情報の流通の仕組みを活かして、東日本地震以外の災害発生時にもいち早くボランティア情報を流通させることで、ボランティアを求めている人のもとにボランティアをお繋ぎしています。

・ 台風18号大雨被害

台風18号の大雨被害による災害ボランティア募集情報について随時情報収集を行い、ボランティア募集情報の発信を行いました。

最初は各地で立ち上がった災害ボランティアセンターの募集情報を中心に情報掲載を行い、災害ボランティアセンターが閉まったあとはNPOなどのボランティア募集情報の発信を行いました。 <http://volunteerinfo.jp/news20150911>

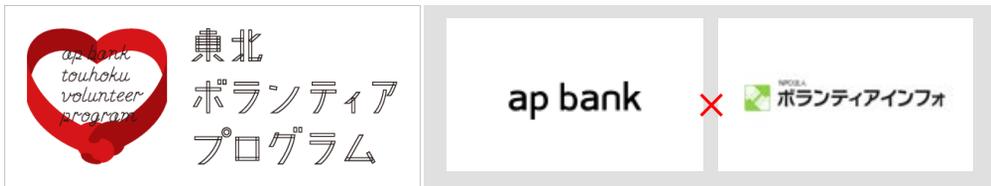
● ボランティア案内所

Webでボランティア情報を発信するのみでなく、フェスなどのイベントでボランティア情報の案内を行なっています。意識せず気軽にボランティア情報に触れていただける場として、積極的にブース出展を行なっています。

・ Peace On Earth2016

3月11日（金）・12日（土）に東京の日比谷公園で行われた、311東日本大震災 市民の集いPeace On Earth。昨年に引き続きボランティア案内所を出展しました。ステージでのトークプログラムにも代表の北村が出演し、東北のボランティアの現状をお伝えしました。

● ap bank 東北ボランティアプログラム



ap bank東北ボランティアプログラムは、人手が必要な被災地と、自分の時間を使って何か東北のために活動したいと思っている方をつなぐプログラムです。このプログラムでは、現地で活動されている多くの団体と協業し、現在被災地で募集されているボランティア情報をできるだけご紹介します。また、ボランティアに向かう交通費を補助し、できるだけ多くの気持ちある人を被災地につなげられるよう、支援を行います。被災地とボランティアと、そしてボランティア活動を行っている全ての人が、共に手を取り、継続的なボランティア活動が広がっていくことを目指します。

<http://apfj.apbank.jp/volunteers/>

・ 募集中のボランティア先

socialTOUR（宮城県東松島市）、三陸ひとつなぎ自然学校（岩手県釜石市）、キャンナス（宮城県石巻市）、ピースポートセンターいしのまき（宮城県東石巻市）、日本カーシェアリング協会（宮城県石巻市）、陸前高田カモメネット（岩手県陸前高田市）、ともしびプロジェクト（宮城県気仙沼市）、東北ファミリア（宮城県南三陸町）

・ ボランティア参加者の声

- 多くの方々に出会うことができ、このような機会に恵まれ、大変感謝しています。ありがとうございました。仮設住宅に滞在させて頂き、貴重な体験が出来ると共に被災者の過酷さを感じる事が出来た。
- 得ることがとても多く、させてもらっているという意識が強かったです。様々な活動に参加しましたが、どの人も釜石を活性化したいという思いが強く、また手伝いにきたいと思いました。日にちを重ねるごとに地域の方にも覚えてもらうことができ、名前を呼んでもらえたときはとてもうれしかったです。また、子ども教室で子供たちが「遊ぼう！」と言ってくれたときはとてもうれしくて、こんな私でも必要としてくれているんだと実感することができました。

ボランティアを募集する団体の方と一緒にボランティアメニュー作りや、より一層ボランティアが集まりやすくなるようなアドバイス、ボランティアさんがリピートしていただけるようなアドバイスを行なってきました。

これまでの活動の中で蓄積したボランティア活動におけるノウハウを活かして、ボランティアの企画やボランティア募集、現場のコーディネートを実施し、ボランティア活動する場を創造することで、ボランティア人口の増加を目指します。

●企画

イベントなどの企画段階から打合せを実施することで、より一層ボランティアが活動しやすい環境を整えると同時に、ボランティアが参加する効果を最大化します。場合によっては口ケハンなどにも同行します。

●募集

ボランティア募集を実施し、応募者の個人情報には責任をもって管理します。

応募者への連絡もボランティアインフォで実施します。

メインはwebでの募集ですが、必要に応じてビラを作成し店舗などに配布も実施します。

●説明会

ボランティア活動が行われる前に参加者を集めて説明会を実施します。説明会ではボランティア活動の内容を説明して不安や疑問を解消するだけでなく、参加者同士のコミュニケーションをとり、楽しく参加できる準備を行います。また説明会を実施することで、キャンセル率を下げる効果があります。



●コーディネート

ボランティア受付から活動内容の説明など、ボランティア活動が円滑に行われるようにイベント主催者とボランティアの間をとりもちます。

●コミュニティ化

ボランティア活動終了後も参加者同士のつながりを維持するため、打ち上げの企画やFacebookのグループ機能を使って、イベントのボランティアコミュニティを継続させていきます。イベントが毎年行われる場合はこのコミュニティを活用することで、ボランティア経験者をリピートさせることが可能です。

●フェス主催者の声 七ヶ浜ビーチフェスティバル 久保田さん

私たちは宮城県七ヶ浜町において、同町の観光資源である菖蒲田浜の活性化を目的にビーチフェスティバルを2013年より開催しており、初年度からボランティアインフォの協力を得ています。このイベントへのボランティアインフォの協力を得ることにより、ボランティアとして七ヶ浜を訪れた方にイベント及び、同町について知ってもらえたことに加え、当団体に関わりを持つ、私たちと同様に地域活性化のために様々な取り組みをしている人たちや団体と繋がりを持つことができました。今後もボランティアインフォとの関わりを通して、多くのボランティアの方と七ヶ浜の繋がりを作ることに加え、他地域との繋がりも広げていければと考えております。

● コーディネート実績 (1/5)

● めんどくしえ祭！2015 おのくん誕生祭

4月18日（土）に宮城県東松島市で行われたおのくんの誕生祭！誕生祭は2回目。おのくんは3歳になりました。ボランティアインフォは昨年に引き続き、ボランティアさんと一緒に前日は5名と当日は10名のお手伝いをしてきました。



● ARABAKI ROCK FEST.15

ARABAKI ROCK FEST.15は宮城県柴田郡川崎町の国立みちのくの湖畔公園で行われた東北最大のロックフェスです。今回は15回目という記念すべき年でした！昨年担当したエントランスだけではなく場内9か所に設置されたエコステーションを担当しました。東北だけではなく、関東からもたくさんのボランティアさんがきてくれました。4月25日（土）は88人。26日（日）は83人の方が参加しました。



● COLOR ME RAD

宮城 4月29日（金）：56名
新潟 6月13日（事前準備）：3名、14日（当日）：31名
北海道 9月28日：18名
富山 10月3日：10名
宮崎 10月23日（事前準備）：2名、24日（当日）：19名



● 仙台国際ハーフ関連イベント

5/9（土）～10（日）に仙台市内で行われた、仙台国際ハーフマラソン関連イベントで9日は10名、10日は7名の方と活動を行いました。ランナー応援メッセージブースとエコステーションブースの運営を担当しました。メッセージブースでは、抱負や意気込みをスケッチブックに書いてもらい、ブースに掲示＆写真撮影。124組ものお客様にお越しいただきました！



● GOOUT CAMP 猪苗代 Vol.2

今年から金曜日に前夜祭を行い5月29日～31日の3日間の開催となりました。木曜日は4人、金曜日は12人、土日の2日間は39人のボランティアさんが場内の誘導やインフォメーションなど会場全体の運営をお手伝いしていただきました。



● PARK ROCK ISHINOMAKI2015

宮城県石巻市で「震災風化抑制、石巻の活性化、石巻の新たな音楽文化の創出」をテーマに開催される音楽イベント。5月30日（土）に開催され、約20人のボランティアさんに活動していただきました。



● コーディネート実績 (2/5)

・ 松島パークフェスティバル2015

前夜祭ライブの会場になったのは惜しまれながら先日閉館したマリニピア水族館。ボランティアさんは5月12日の前日設営に1名、前夜祭ライブの日には一般募集したボランティアさんと専門学生さんの16人、14日は一般応募と学生さん合わせて27人で各ステージや駐車場の運営を行いました。



・ シルクロコ

5月30日に千葉県幕張海浜公園にて行われました。ボランティア5人でビーチクリーニングをしてから、1つのエコステーションを担当しました。



・ RED BULL AIR RACE CHIBA 2015

6月4日、5日に行われた日本初上陸したイベント！ボランティアインフォが担当したのは、エアレース会場入ってすぐの公園エリアの誘導案内。一般募集したボランティアと地元からのボランティアさんも加わり、土曜は25人、日曜は22人でエアレースに来る6万人のお客さまが観客席にたどり着けるように案内をしました。



・ SENSEKI TRAIN FES

7月11日(土)に仙石線の復旧を祝ってSENSEKI TRAIN FESが松島、東松島、塩竈の3会場で開催されました。ボランティアインフォはボランティア募集を実施し、当日のコーディネートとして東松島会場4人と塩竈会場5人でボランティア活動をしてきました。



・ LANDMARK FESTIVAL 2015

7月19日(日)に石巻で開催されたLANDMARK FESTIVALのお手伝いをしてきました。18日の当日準備は8名、19日の当日は10名のボランティアさんが活動しました。石巻市近郊の方が多く参加し、地元を盛り上げていました。



・ BAYSIDE CRASH 2015、MURO FES

東京晴海客船ターミナル特設ステージにて行われた二つのイベント。7月25日(土) BAYSIDE CRASH 2015は5名、7月26日(日) MURO FESは6名のボランティアさんに参加していただきました。夏フェスにふさわしい(!?) 灼熱の炎天下のなかエコステーションでごみの分別案内と回収を行いました。



● コーディネート実績 (3/5)

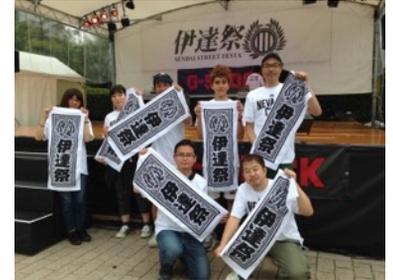
・ Seventhheaven七ヶ浜ビーチフェスティバル2015

宮城県七ヶ浜市の菖蒲田海岸特設会場で行われました。前日からフェス翌日までの計3日活動を行いました。8/1(土) 設営・準備は1名。8/2(日)の当日は5名。8/3(月)撤去作業は1名の方が参加しました。昨年は雨のため中止となりましたが、2015年は天気にも恵まれ活動することができました。



・ 伊達祭2015

仙台のストリートシーンがギュッとつまった伊達祭のボランティアコーディネートを昨年に続いて実施してきました。今年8月15日(土)が8人、16日(日)は7人のボランティアさんにご参加いただきました。



・ 蔵王龍岩祭2015

8月21日(金)～23日(日)に山形県の蔵王温泉スキー場で行われた龍岩祭。

2015年は記念すべき10回目の開催でした。

金曜日から日曜日の3日間お手伝いさせていただきました。

活動は17時～7時の夜から朝にかけての駐車場誘導と本部係を3時間ごと交代で行いました。



・ オハラ☆ブレイク '15夏

8月1日(土)～9日(日)までの9日間、福島県の猪苗代湖畔天神浜で行われたオハラ☆ブレイク '15夏。

9日間でのべ53名の方が活動してくれました！

トイレ、エコステーション、エントランス、駐車場誘導の他にアート系に興味があるボランティアさんに展示物やコンテンツのサポートを行いました。



・ TINY GARDEN FESTIVAL 2015

3回目の開催となるTINY GARDEN FESTIVALが8月29日・30日に群馬県嬬恋村の無印良品カンパーニャ嬬恋キャンプ場で開催されました。TGFでは一般ボランティアの募集はしませんが、主催となるアーバンリサーチさんからスタッフの方々が毎年たくさん参加し、今年は全国から90人もスタッフさんに参加いただきました！



・ Solstice Music Festival2015

8月の29日から30日にかけて静岡県伊豆修善寺で行われたSolstice Music Festival 2015

8年振りに復活のサイケデリック～エレクトロニックのオールナイトイベント。

ボランティア11名でエコステーションの運営をしました。



ボランティアコーディネート事業

● コーディネート実績 (4/5)

・ ジャズフェス西公園

9/12 (土)・13 (日) の二日間にわたり仙台市街で開催された、定禅寺ストリートジャズフェスティバルin仙台2015。ボランティアインフォでは、西公園に設置された3ステージ (遊具広場ステージ・旧図書館ステージ・歩道橋前ステージ) を担当。のべ27名のボランティアさんが活動しました。



・ ツール・ド・東北 2015

9月13日 (日) 開催されたツールド東北。昨年まではスタート&ゴールは石巻でしたが、今年から新たに気仙沼スタートのコースが新設されました。ボランティアインフォでは気仙沼会場の前日と当日のコーディネートを行いました。12日は19人、13日は74人のボランティアさんが参加しました。気仙沼市在住のボランティア、県外から来たボランティアと一緒に活動を行いました。



・ GAMA ROCK 2014

9月20日 (日) に塩竈で開催されたGAMA ROCK 2015。昨年引き続き2回目のボランティアコーディネートで、前々日の設営から前日設営、当日の運営、翌日の撤去まで延べ47人のボランティアさんが参加してくれました。ワークショップボランティアとフラッグボランティアを入れると79人が活動しました!



・ 騎馬武者ロックフェス2015

9月19日に南相馬で開催された騎馬武者ロックフェス2015のお手伝いをしてきました。前日は東京から来たアースガーデンのボランティアさんと一緒に会場設営をしました。当日はリストバンド交換からエントランス周りを担当しました。



・ Place2015

9月22日 (火) に日立で開催された東日本大震災復興祈願野外FES -Place2015-でボランティアコーディネートのお手伝いとみちのくフェスティバルラインの出展をしてきました。集まってもらったボランティアさんにはエコステーションやエントランス、海岸警備などを実施していただきました。



・ GOOUT CAMP vol.11

富士山のふもと、ふもとっばらで10月2日~4日に開催されたGOOUT CAMP vol.11に、インフォメーションブースの担当として参加してきました。11人のボランティアさんにお手伝いいただき、大きなトラブルなく運営できました。



● コーディネート実績 (5/5)

● FREEDOM aozora 2015 淡路島

音楽で出来る事。『FREEDOM』が出来る事。大自然に育まれながら成長する、このフェスティバルは、自然と音と絆が宇宙にいるような空間を創り出す。

8月29日(土) 30日(日)に淡路島で開催されたFREEDOM aozoraには延べ40人のボランティアさんが集まってくれました。



● 気仙沼サンマフェスティバル2015

第4回目となる気仙沼サンマフェスティバル。10月10日(土)～11日(日)の2日間、イオン気仙沼店の駐車場で行われました。ボランティアさんには9日(金)の事前準備、12日(月)の撤収作業にもお手伝いいただき4日間でのべ200人近くのボランティアさんに活動して頂きました！



● 東北ジャム2015 in 女川

「いつまでも被災地じゃない」をスローガンに掲げ、10月25日(日)に宮城県女川町の女川総合運動公園で行われた東北ジャム2015。23日、24日は事前準備、26日は撤収作業もボランティアさんにお手伝いいただき4日間でのべ138名の方が参加してくれました！



● CANDLE 11th -LIGHT FOR FUKUSHIMA-

代々木公園で開催されたCANDLE 11th -LIGHT FOR FUKUSHIMA-のお手伝いをしてきました。

毎月11日の月命日に福島や宮城で地元の方を元気付ける場作りをしているLOVE FOR NIPPONさんが震災から5年目を前に東京でもキャンドルの輪を繋ぐ場作りをとということで開催しました。



● Peace On Earth2015

3月11日、12日に東京、日比谷公園で開催されました。11日(金)59名、12日(土)69名のボランティアさんが活動を行いました。リーダーを中心に本番を迎える前までの事前準備にもたくさんの勇士たちが関わっていました。東京で東北を想ってくれる人がこんなにもいること、そしてその場をいい場にしようとして一生懸命準備や当日の運営をしてくれるボランティアさんがこんなにもたくさんいることを感じました。



● ボランティア教育

昨年度に引き続き我妻を中心に、宮城県多賀城高等学校において、教育機関における既存のボランティア体験を超えたボランティアプログラムを実施しました。

・ ボランティア教育事業とは？

学生自身がボランティア活動を通して『地域課題』を発見し、情報発信や周囲の巻き込みを行いつつ、「ボランティア」という手法を使って主体的に地域課題の解決を目指す教育プログラムです（下記6STEP）。

STEP1 いくつかのボランティア募集情報の中から興味あるものに参加する

STEP2 ボランティア活動の感想を共有する（ワークショップ形式）

STEP3 自身の周りにある社会課題を見つける（ワークショップ形式）

STEP4 発見した課題の解決方法を考え、仲間を集める（ボランティア募集）

STEP5 周囲を巻き込み一緒に課題を解決する（ボランティア活動）

STEP6 フィードバック（ワークショップ形式、発表会）

- ・ 実施期間：2015年4月－2016年3月
- ・ 実施校：宮城県多賀城高等学校（課外活動）
- ・ ボランティア体験先：仙台市・多賀城市近郊で活動する8団体
- ・ 連携団体：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- ・ 参加者数：23人

- ・ 課題解決アクション（高校生考案）
高校生企画「家族で防災！わくわくサバメシ体験」イベントの開催



概要：ボランティア教育プログラムの集大成として、多賀城高校の生徒が自分たちの感じていた「子どもの遊び場や地域の人々の交流の場が少ないのではないか」といった課題に着目し、課題解決のために企画。

目的：東日本大震災等の影響により遊び場が減少しているなかで、子どもが家族と楽しみながら学ぶ・体験する機会・場をつくること、また震災から5年を迎えるなかで改めて防災について考え直すきっかけをつくること。

対象：小学生までの子どもとその家族

実施内容：「サバメシ体験」「防災〇×クイズ」
「防災グッズ展示・体験」

来場者数：21家族58人

ボランティア参加数：21人



2016年4月より、多賀城高校第1学年を対象とした、プログラム実施（総合的な学習の時間）が決定しています。

また、ボランティア教育事業の資金調達力強化のため、子どもサポート基金から助成を受けることが決定しています。

● ボランティアストーリー <http://story.volunteerinfo.jp/>

ボランティア活動を行っている方にインタビューをして、1人1人のボランティアストーリーをwebを中心に配信しています。

ボランティア活動に参加した動機や、活動をして良かったこと、参加した後で変わったことなどを聞き、ボランティアストーリーとして配信することで、少しでも多くの方に共感していただき、そして「自分でもできるかな」「ボランティア行ってみようかな」と思ってもらえる人を増やしていきます。 サイトリリース：2013年11月11日



STORY #018
同世代の「風化させたくない」という言葉を聞いて



STORY #019
初めてボランティアというものに会いました
支援される側になって



STORY #020
東北に来てほしい。まちを好きになってリピーターが増えたらいいなって思います。



STORY #021
「力まず自分のできることをやっていくことがコツです」



STORY #022
「今だから、必要な活動があるって強く思います」



STORY #023
「ボランティア活動を通して東北のイマを感じています」



STORY #024
「困っている人がいたら助ける。その延長が俺のボランティアです。」



STORY #025
「僕の人生を変えたボランティア。」



STORY #026
「“楽しかった”で終わらず、次につながる何かを残していきたい」



STORY #027
「東京に住んでいても東北に向けてできることがある」



STORY #028
「ボランティアは夢への近道かもしれない。」

● 取材を受けた 遠藤さんの声 (<http://story.volunteerinfo.jp/story024/>)

取材を受けて何か変化があったかと言われると特段無いのですが、ボランティアであった方に「記事読みました」とか声掛けられるとやっぱり嬉しいし、もうちょっとちゃんとしなきゃって思いますよね。あれから自分の中でも次のステップに行かなきゃって気持ちが芽生えてボランティアリーダーもやってみたりしてます。毎回の事ながら失敗と反省と改善の連続ですけど(笑)でも、それでいいと思ってます。むしろ「あんなオヤジに任せてらんねーから、俺がやる！」っていう若い子が出てくるのを楽しみにしてますよ(笑)

● 中高生スポーツボランティア育成講座

<http://sv.volunteerinfo.jp/>

2020年東京オリンピックにむけて、「スポーツコミッションせんだい」「SV2004」と中高生スポーツボランティア育成講座を実施しました。

・ 中高生スポーツボランティア育成講座とは？

宮城県内の中高生を対象に、講座とベガルタ仙台や仙台89ERS、グランディ・21などの協力団体でのボランティア活動体験を通じて、スポーツボランティア経験者に育成してプログラムです。

- ・ 募集期間：2015年5月7日－9月20日
- ・ 活動体験期間：2015年6月－2016年1月
- ・ 活動対象：宮城県内の高校生、中学生
- ・ 研修日程：2015年6月6日（土）、7月18日（土）、7月28日（火）、9月21日（月・祝）
- ・ 研修場所：仙台市体育館2階研修室ほか
- ・ 体験先：楽天イーグルス、ベガルタ仙台・レディース、仙台89ERS、ベルフィーユ仙台、W杯バレーボール
- ・ 参加者数：69人（団体申込：常盤木学園高等学校）
- ・ 修了者数：44人



その他の活動/助成金

● 登壇イベント

- ・ 宮城県主催の『ワーク・ライフ・バランスを考える「みやぎ100人男子会」～男女が共に活躍できる社会をめざして～』にパネル出展
- ・ 仙台市宮城野区社会福祉協議会さんの『はじめてのボランティア講座』に登壇

● 助成金

東日本大震災復興支援財団の「子どもサポート基金」から助成を受け、多賀城高校で実施したボランティア教育プロジェクトの立ち上げ及び運用費用とさせていただきました。

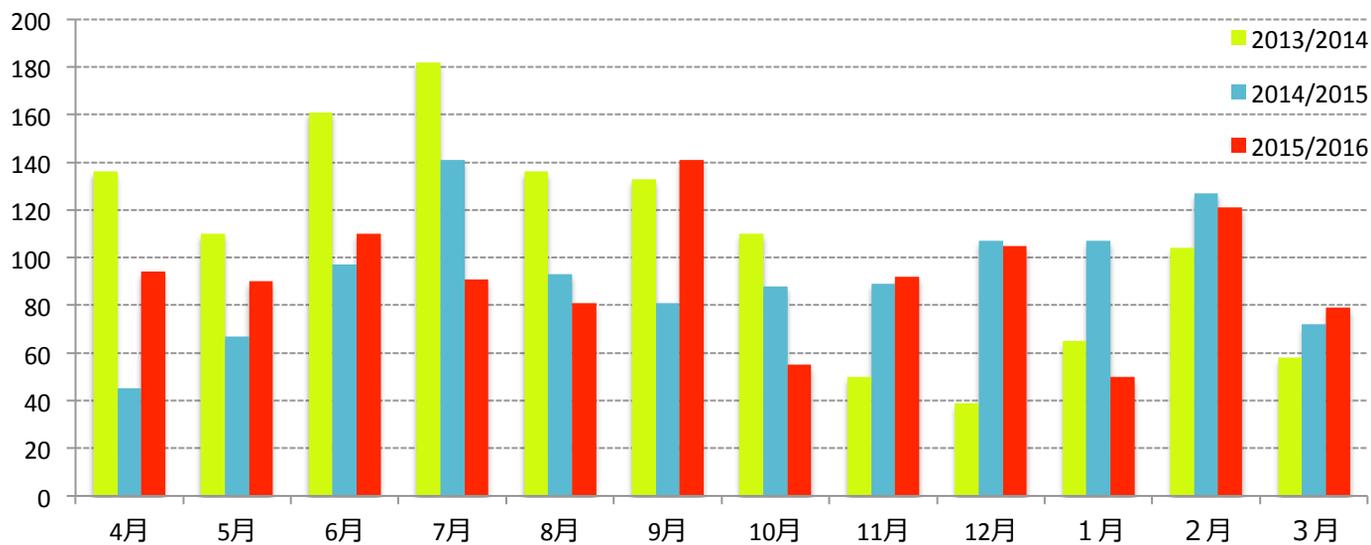
http://minnade-ganbaro.jp/press/press_20150313_01.html

みんなでがんばろう ● 日本

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

● ボランティア情報事業

- ・ ボランティア情報掲載数 : **1,109件** (平均92件/月)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2013/14	136	110	161	182	136	133	110	50	39	65	104	58
2014/15	45	67	97	141	93	81	88	89	107	107	127	72
2015/16	94	90	110	91	81	141	55	92	105	50	121	79

- ・ 時期変動が少なくなり、通年での募集が増加している
- ・ 傾向としては夏休み前と3月、ゴールデンウィーク前に増加する傾向があるものの昨年よりも山はなだらかになってきている

・ 今までの延べサポート団体数

650団体 (ボランティア募集のサポート有無に関わらず)

・ 東日本大震災以外のボランティア情報

1箇所 : 台風18号大雨被害

・ ボランティア案内所

1箇所 : Peace On Earth2016

● ボランティア情報事業

・ ap bank東北ボランティアプログラム

－募集团体数：**8団体**

socialTOUR（宮城県東松島市）、三陸ひとつなぎ自然学校（岩手県釜石市）、
キャンナス（宮城県石巻市）、日本カーシェアリング協会（宮城県石巻市）、
ピースボートセンターいしのまき（宮城県東石巻市）、
陸前高田カモメネット（岩手県陸前高田市）、
ともしびプロジェクト（宮城県気仙沼市）、
東北ファミリア（宮城県南三陸町）

－ボランティア参加者数：**31人**（応募者数：74人）

● ボランティアコーディネート事業

- ・おのくん誕生祭：15人
- ・ARABAKI ROCK FEST.15：171人
- ・Color Me Rad宮城：56人
- ・仙台ハーフマラソン関連イベント：17人
- ・Redbull Air Race 2015：47人
- ・CIRCOLOCO2015：5人
- ・GOOUT CAMP猪苗代：94人
- ・PARKROCK ISHINOMAKI：20人
- ・松島パークフェス：43人
- ・Color Me Rad新潟：34人
- ・SENSEKI TRAIN FES：9人
- ・ランドマークフェス：18人
- ・BAYSIDE CRASH&MURO FES：11人
- ・オハラブレイク'15夏：53人

- Seven Beach Fes：7人
- 伊達祭：15人
- TINY GARDEN FESTIVAL：180人
- FREEDAM淡路島：
- Soltice Music Festival：22人
- ツール・ド・東北：800人
- JSF（西公園）：27人
- FREEDOM aozora 淡路島：40人
- GAMA ROCK：47人
- Color Me Rad北海道：18人
- Color Me Rad富山：10人
- 気仙沼サンマフェスティバル：200人
- Color Me Rad宮崎：21人
- 東北ジャム 2015 in 女川：138人
- Peace On Earth：128人

年間参加ボランティア人数：2,118人

● ボランティア促進・啓発事業

- ・ボランティアストーリー 記事数：**11本**

● その他

- ・ブログでの情報発信数：**85記事**（平均：7.1記事/月）

● ボランティア情報事業

- ・ 東日本地震のボランティア情報の特集を組みました
ゴールデンウィーク特集、夏休み特集、311周辺のイベント特集 など
- ・ ボランティア情報入力チームで毎月の掲載目標を達成できるようになりました
チームとして機能するようになり毎月の掲載目標数に向けて計画的にボランティア情報の収集や入力の分担ができるようになりました。

● ボランティアコーディネート事業

- ・ 様々なシーンのボランティアコーディネートを実施しました
音楽イベントやスポーツイベント、アートイベントなどさまざまなイベントのボランティアコーディネート実績を積みました。
- ・ 参加ボランティアのリピーター化
ボランティアインフォのボランティアコーディネートに毎回参加してくれる方が多く、ボランティアの輪が徐々に広がってきています。
- ・ 商業イベントのコーディネートで収益を得られるようになりました
震災復興支援関連以外の商業イベントでコーディネートをする際に、企画費を含めて収益を得ることが徐々にできるようになってきました。
特にColor Me Radは宮城大会を皮切りに全国の会場でボランティアコーディネートを担当しました。
コーディネート事業での収益をいただきながら沿岸部のイベントのコーディネートを継続していければと思います。

● ボランティア普及促進事業

- ・ ボランティア教育を開始しました
子どもサポート基金の助成のもと、多賀城高校でボランティア教育プログラムを実施が決定しました。
次期も引き続き多賀城高校でのプログラム実施と、助成金に頼らないマネタイズを進めていきます（マネタイズ部分で子どもサポート基金の助成金獲得）。

メディア掲載

- ARABAKI ROCK FEST.15のボランティアコーディネートブログが河北新報夕刊に掲載（2015/5/22）
- J-WAVEのWONDER VISIONに代表の北村が電話出演（2015/5/31）
- 仙台市市民活動サポートセンターさんの「ぱれっと」に掲載（2015/6/5）
- 多賀城高校でのボランティア教育が河北新報に掲載（2015/6/10）
- ソトコト8月号でみちのくフェスティバルラインの紹介（2015/7/9）
- 読売新聞にボランティア募集情報提供サイトとして紹介（2015/7/13）
- TURNS 2016年4月号にボランティアインフォの記事が掲載（2016/2/21）
- 荻上チキさんの『災害支援手帖』にボランティアインフォのことを書いていただきました（2016/3/9）
- 塩竈「ベイウェーブ」に多賀城高校生出演、Date FM「Flick Motion」でも『家族で防災！わくわくサバメシ体験』を紹介（2016/3/15）
- 新聞各紙に東日本大震災から5年目のボランティアについての代表北村のインタビュー記事を掲載していただきました（2016/3/31）



東日本大震災後の活動からはじまったボランティアインフォは多くの方に支えていただき、2012年4月にNPO法人になり、NPO法人ボランティアインフォとしての第4期の活動を終えることができました。この場をおかりして、お世話になっている皆さまに御礼申し上げます。

被災地での支援の変化のスピードは早く、求められているボランティアは刻一刻と変化しています。それに対応できるよう、ボランティアインフォも組織構成や、情報収集と発信の方法などを日々見直しながら活動を行なっています。継続して実施していることがある一方で、今までの経験を活かして「ボランティア教育」のように新しく始めたこともあります。

また昨年から実施しているボランティアコーディネートについては、ボランティアの場作りを通じて、「ボランティアをカジュアルにする」「日本のボランティア人口を増やす」ことを目的としています。年間のボランティア参加者数は2000人を越え、そしてリピート率も高く、ボランティアのいいコミュニティ作りができていると同時に、ボランティアインフォの収益の柱になりました。

2016年度はボランティア情報事業とコーディネート事業はそのまま継続しつつ、ボランティア教育プログラムの拡大とマネタイズに注力していく所存です。

東日本地震の支援活動を継続しつつも、日本のボランティア人口を増やし、もっとボランティア活動がカジュアルになるように活動して参りますので、引き続きご支援の程、よろしくお願ひいたします。

NO VOLUNTEER, NO LIFE. NPO法人ボランティアインフォ 代表理事
北村 孝之

● 団体概要

正式名称	特定非営利活動法人ボランティアインフォ
設立	2011年5月15日（2012年4月2日NPO法人認可）
住所	宮城県仙台市青葉区本町1-12-1 2GMビルディング2F
URL	http://volunteerinfo.jp
代表理事	北村孝之
理事	及川多香子
理事	山田朱実
監事	村松淳司
決算期	3月31日